

(表2-4-3-10) 高齢者パターン別にみた解決前の状況

	【実数】			【比率】(縦100)		
	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度
有効回答数	155	84	71	100.0	100.0	100.0
食卓テーブルにつくと、少し食べるが途中で食べるのをやめてしまっていた	108	59	49	69.7	70.2	69.0
食事の途中で手を止め、その後は手をつけず寝てしまっていた	20	11	9	12.9	13.1	12.7
食事は食べ始めるが途中で席を立ち歩き回っていた	26	15	11	16.8	17.9	15.5
たまに全量摂取するが殆ど残っていた	16	9	7	10.3	10.7	9.9
おかずは食べるが、ご飯だけ残っていた	14	8	6	9.0	9.5	8.5
食事中にそわそわ等落ち着きがみられず、苦痛な表情をしていた	15	7	8	9.7	8.3	11.3

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

(表2-4-3-11) 高齢者パターン別にみた解決後の状況

	【実数】			【比率】(縦100)		
	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度
有効回答数	155	84	71	100.0	100.0	100.0
中断する回数が減り、最後まで食べられるようになった	116	66	50	74.8	78.6	70.4
職員と同じペースで食べられることも増えてきた	17	10	7	11.0	11.9	9.9
好みに合わせたときは食べた	39	17	22	25.2	20.2	31.0

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

(表 2-4-4-1) 食事中断の解決方法

区分	code	解決時に行った方法	実数	%	
有効回答数			238	100.0	
声かけの工夫	101	急かさず、声かけの繰り返し	86	36.1	
	102	本人の気持ちの確認、質問	35	14.7	
	103	ペースを尊重し、食事の促し	164	68.9	
	104	好きな話題を提供	2	0.8	
	105	ほめる	1	0.4	
	106	仲の良い利用者からの誘い	1	0.4	
	107	その他	5	2.1	
誘導の工夫	201	促さず、見守る	140	58.8	
	202	食事の認識を促す	97	40.8	
	203	家族の名前を出して誘導する	37	15.5	
	205	外食に誘う	14	5.9	
	206	食事を一端止め、待つ	84	35.3	
	207	食事準備に参加してもらう	22	9.2	
	208	嗅覚を刺激する	11	4.6	
	メンバー調整	301	仲の良い人と食べる	79	33.2
302		ペースが一緒の利用者と	39	16.4	
303		職員と一緒に	111	46.6	
305		他者と離れて、一人で	36	15.1	
食事の工夫	401	食器の大きさを変えた	44	18.5	
	402	好みのものにする	62	26.1	
	403	食物の形態を変更	120	50.4	
	405	おやつ、間食	14	5.9	
	406	高カロリー一食で量を増やす	10	4.2	
	407	食器を毎日変える	4	1.7	
	408	食器の柄や色を変える	15	6.3	
	409	食器の形や材質変更	16	6.7	
	410	過去の食事スタイル	16	6.7	
	411	食事の盛り方の工夫	5	2.1	
	412	食品数の調整	1	0.4	
	413	食品の配置の工夫	3	1.3	
	414	その他	5	2.1	
	食事環境調整	501	好きな場所で	115	48.3
502		食べる場所を選択できるようにする	9	3.8	
504		スタッフの通る場所をさける	31	13.0	
506		花柄のカーテンなど飾る	3	1.3	
507		テーブルに花を置く	16	6.7	
509		静かな環境で	75	31.5	
510		周囲に物を置かず、集中できるようにする	2	0.8	
511		姿勢を整える	2	0.8	
512		イス、テーブルの高さ調整	3	1.3	
513		好きな音楽をかける	1	0.4	
514		その他	2	0.8	
その他		601	義歯の調整	28	11.8
		602	食事に関する思い出を家族から聞く	39	16.4
		603	食事前の活動を促す	45	18.9
	604	食事前にトイレへ誘導	71	29.8	
	605	ほほマッサージ	2	0.8	
	606	食事介助	2	0.8	
	607	生活のリズム調整	1	0.4	
	608	排泄の調整	1	0.4	

(参考) 平均回答項目数 → 7.3

(表2-4-4-2) 食事中断の解決方法組み合わせパターン
(潜在クラス13クラスモデルのプロフィール)

区分	mode	解決方法	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8	パターン9	パターン10	パターン11	パターン12	パターン13	
全体	サイズ	100	1.000	0.150	0.134	0.118	0.099	0.083	0.084	0.071	0.059	0.055	0.050	0.040	0.030	0.025
		101	0.261	0.390	0.076	0.108	0.130	0.080	0.701	0.061	0.846	0.308	0.252	0.852	0.710	0.170
		102	0.147	0.210	0.000	0.026	0.172	0.235	0.382	0.083	0.001	0.001	0.085	0.107	0.891	0.002
		103	0.089	0.239	0.999	0.999	0.818	0.870	0.700	0.998	0.195	0.771	0.742	0.448	0.855	0.830
		104	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.049	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.106	0.000	0.000
		105	0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.105	0.000	0.000
		106	0.004	0.028	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		107	0.021	0.047	0.000	0.000	0.000	0.000	0.088	0.006	0.000	0.000	0.078	0.000	0.000	0.188
		201	0.588	0.555	0.383	0.565	0.533	0.537	0.848	0.998	0.285	0.811	0.734	0.458	0.572	0.995
		202	0.408	0.141	0.555	0.443	0.495	0.483	0.788	0.003	0.888	0.382	0.353	0.882	0.894	0.339
		203	0.156	0.289	0.203	0.108	0.288	0.171	0.103	0.001	0.062	0.068	0.061	0.294	0.188	0.188
		204	0.058	0.555	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.234	0.000	0.078	0.000	0.001	0.142	0.884
		205	0.253	0.129	0.001	0.234	0.274	0.455	0.833	0.119	0.452	0.458	0.740	0.448	0.993	0.282
		207	0.082	0.032	0.173	0.120	0.000	0.000	0.000	0.112	0.001	0.230	0.001	0.213	0.708	0.001
		208	0.048	0.058	0.000	0.035	0.000	0.000	0.050	0.117	0.142	0.000	0.000	0.000	0.425	0.001
		301	0.332	0.210	0.313	0.840	0.045	0.002	0.386	0.888	0.372	0.885	0.288	0.003	0.710	0.171
		302	0.164	0.083	0.184	0.321	0.161	0.088	0.247	0.001	0.001	0.300	0.001	0.125	0.428	0.521
303	0.468	0.210	0.511	0.147	0.371	0.459	0.530	0.377	0.818	0.783	0.888	0.788	0.994	0.828		
305	0.151	0.188	0.067	0.061	0.088	0.001	0.428	0.122	0.148	0.150	0.067	0.107	0.991	0.358		
401	0.185	0.088	0.088	0.233	0.202	0.001	0.201	0.215	0.511	0.077	0.001	0.733	0.587	0.002		
402	0.261	0.118	0.095	0.485	0.143	0.150	0.001	0.189	0.402	0.885	0.994	0.231	0.851	0.470		
403	0.504	0.002	0.547	0.067	0.998	0.715	0.735	0.994	0.815	0.839	0.113	0.334	0.853	0.188		
405	0.059	0.024	0.000	0.125	0.000	0.000	0.157	0.080	0.000	0.001	0.000	0.120	0.283	0.332		
406	0.042	0.000	0.088	0.048	0.043	0.048	0.000	0.189	0.000	0.000	0.000	0.000	0.142	0.001		
407	0.017	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.148	0.000	0.000	0.000	0.000	0.142	0.000		
408	0.063	0.110	0.031	0.000	0.000	0.000	0.000	0.118	0.143	0.230	0.087	0.001	0.283	0.001		
409	0.067	0.000	0.084	0.000	0.044	0.000	0.148	0.000	0.000	0.303	0.000	0.104	0.425	0.188		
410	0.067	0.083	0.000	0.130	0.000	0.101	0.048	0.000	0.219	0.003	0.000	0.001	0.142	0.498		
411	0.021	0.000	0.000	0.070	0.042	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.107	0.000	0.000		
412	0.004	0.028	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
413	0.013	0.000	0.031	0.000	0.042	0.000	0.050	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
414	0.021	0.000	0.000	0.025	0.000	0.088	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.142	0.000		
501	0.483	0.340	0.839	0.478	0.050	0.004	0.841	0.838	0.875	0.840	0.345	0.005	0.884	0.528		
502	0.038	0.000	0.000	0.102	0.000	0.098	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001		
504	0.130	0.000	0.182	0.138	0.213	0.001	0.001	0.171	0.001	0.377	0.501	0.324	0.001	0.002		
506	0.013	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.283	0.000		
508	0.067	0.052	0.083	0.000	0.000	0.057	0.000	0.000	0.000	0.825	0.001	0.001	0.425	0.001		
509	0.215	0.112	0.001	0.481	0.842	0.002	0.300	0.125	0.218	0.783	0.208	0.235	0.427	0.891		
510	0.008	0.028	0.000	0.000	0.042	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
511	0.008	0.000	0.000	0.000	0.042	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
512	0.013	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.211	0.000	0.000		
513	0.004	0.028	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
514	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.143	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
601	0.118	0.000	0.150	0.000	0.298	0.051	0.001	0.247	0.352	0.078	0.188	0.001	0.425	0.002		
602	0.164	0.139	0.111	0.298	0.001	0.152	0.302	0.002	0.073	0.380	0.001	0.001	0.587	0.632		
603	0.189	0.057	0.088	0.298	0.172	0.002	0.101	0.332	0.073	0.808	0.421	0.110	0.708	0.003		
604	0.298	0.187	0.096	0.148	0.487	0.062	0.158	0.058	0.878	0.998	0.091	0.110	0.710	0.487		
606	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.211	0.000	0.000		
608	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
609	0.004	0.028	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
608	0.004	0.000	0.000	0.000	0.042	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
(参考)平均項目数	1	7.3	4.2	5.8	6.5	6.8	8.0	8.3	7.4	7.8	12.1	7.3	7.8	18.3	8.9	
該当事例数	1	(23)	(36)	(22)	(28)	(24)	(20)	(20)	(17)	(14)	(13)	(12)	(8)	(7)	(6)	

(注) 該当事例数は、各パターンのサイズ(数値)から算出して整数表示したものであり、総率が正確の場合、事例数が増減と異なることがある。

(表 2-4-4-3) 潜在クラスモデル評価 (食事中断の解決方法組み合わせパターン)
(情報量規準など)

モデル(クラス数)	情報量規準		Classification Statistics			
	BIC	AIC	Class.Err.	Reduction errors	Entropy R-squared	Standard R-squared
モデル1(クラス数1)	7401.8	7228.2	0.000	1.000	1.000	1.000
モデル2(クラス数2)	7490.4	7139.7	0.030	0.793	0.803	0.814
モデル3(クラス数3)	7644.3	7116.5	0.104	0.797	0.723	0.732
モデル4(クラス数4)	7819.0	7114.2	0.114	0.822	0.786	0.774
モデル5(クラス数5)	8011.9	7130.0	0.112	0.844	0.810	0.790
モデル6(クラス数6)	8208.9	7149.9	0.128	0.817	0.793	0.765
モデル7(クラス数7)	8416.0	7179.8	0.081	0.883	0.873	0.844
モデル8(クラス数8)	8666.0	7252.8	0.078	0.896	0.877	0.854
モデル9(クラス数9)	8890.8	7300.5	0.101	0.880	0.869	0.830
モデル10(クラス数10)	9112.7	7345.3	0.077	0.905	0.893	0.866
モデル11(クラス数11)	9305.0	7360.5	0.058	0.932	0.923	0.899
モデル12(クラス数12)	9566.4	7444.9	0.069	0.916	0.912	0.883
モデル13(クラス数13)	9793.7	7495.0	0.057	0.933	0.928	0.902
モデル14(クラス数14)	10057.6	7581.9	0.057	0.928	0.926	0.900
モデル15(クラス数15)	10273.5	7620.7	0.064	0.927	0.928	0.893

(表2-4-4-4) 食事中断の解決方法組み合わせパターンと解決後のパターンの相関
(全体)

解決方法の組み合わせパターン		解決後のパターン (n=154)		
		パターン1	パターン2	パターン3
		中断する回 数が減り、 最後まで食 べられるよ うになった	好みに合 わせたと きは食べた	職員と同じ ペースで食 べられるこ とも増えて きた
パターン1	「促さず、見守る」を主として、「急かさず、声かけの繰り返し」、「好きな場所で」、「家族の名前を出して誘導する」などで構成された平均4.2項目と最少の組み合わせ	0.177 *	-0.150	-0.071
パターン2	「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の4項目も多く、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」などで構成された平均5.8項目の組み合わせ	-0.057	0.046	0.026
パターン3	「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」と「促さず、見守る」も多く、「好みのものにする」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースが一緒の利用者」と、「食事前の活動を促す」、「食事に関する思い出を家族から聞く」などで構成された平均6.6項目の組み合わせ	-0.049	0.149	-0.125
パターン4	「食物の形態を変更」と「静かな環境」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」と「促さず、見守る」も多く、「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「食事前にトイレへ誘導」、「義歯の調整」、「職員と一緒に」などで構成された平均6.8項目の組み合わせ	0.130	-0.097	-0.069
パターン5	「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」の3項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」、「職員と一緒に」、「食事前にトイレへ誘導」などで構成された平均6.0項目の組み合わせ	-0.175 *	0.208 **	-0.011
パターン6	「好きな場所で」、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」の4項目を共通ベースとして、「急かさず、声かけの繰り返し」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の5項目も多い、平均9.3項目の組み合わせ	0.089	-0.030	-0.097
パターン7	「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」、「食物の形態を変更」、「好きな場所で」の4項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」も多く、「職員と一緒に」、「食事前の活動を促す」などで構成された平均7.4項目の組み合わせ	0.038	-0.094	0.068
パターン8	「食事前にトイレへ誘導」と「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食事の認識を促す」、「好きな場所で」、「職員と一緒に」、「食物の形態を変更」、「食器の大きさを変えた」の5項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」、「義歯の調整」などで構成された平均7.9項目の組み合わせ	0.039	-0.056	0.016
パターン9	「食事前にトイレへ誘導」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の6項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」、「好みのものにする」、「促さず、見守る」、「テーブルに花を置く」、「食事前の活動を促す」の5項目も多い、平均12.1項目と多い組み合わせ	-0.071	0.014	0.090
パターン10	「好みのものにする」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「スタッフの通る場所をさける」の4項目も多く、「食事前の活動を促す」、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「仲の良い人と食べる」、「急かさず、声かけの繰り返し」などで構成された平均7.3項目の組み合わせ	-0.215 **	0.033	0.286 **
パターン11	「食事の認識を促す」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「食器の大きさを変えた」と「急かさず、声かけの繰り返し」も多く、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「スタッフの通る場所をさける」などで構成された平均7.6項目の組み合わせ	0.053	0.004	-0.086
パターン12	「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「職員と一緒に」、「他者と離れて、一人で」、「本人の気持ちの確認、質問」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「好きな場所で」、「食物の形態を変更」、「好みのものにする」の9項目を共通ベースとして、「食事前にトイレへ誘導」、「食事前の活動を促す」など多くを伴った平均18.2項目と最多の組み合わせ	-0.139	0.074	0.114
パターン13	「静かな環境で」、「促さず、見守る」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の4項目を共通ベースとして、「外食に誘う」、「食事に関する思い出を家族から聞く」、「好きな場所で」、「ペースが一緒の利用者」との4項目も多い、平均9.9項目の組み合わせ	0.117	-0.091	-0.058

(注) 潜在クラス帰属確率による相関係数

(有意水準) 1%水準 **
5%水準 *

(表 2-4-4-5) 食事中断の解決方法組み合わせパターンと解決後の各状況との関連
(全体)

解決方法パターン		有効回答事例数	【比率】(横100)		
			中断する回数が減り、最後まで食べられるようになった	職員と同じペースで食べられることも増えてきた	好みに合わせたときは食べた
全体		154	74.7	11.0	25.3
パターン1	「促さず、見守る」を主として、「急かさず、声かけの繰り返し」、「好きな場所で」、「家族の名前を出して誘導する」などで構成された平均4.2項目と最少の組み合わせ	20	87.1	5.2	7.6
パターン2	「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の4項目も多く、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」などで構成された平均5.8項目の組み合わせ	24	74.2	12.1	30.4
パターン3	「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」と「促さず、見守る」も多く、「好みのものにする」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースが一緒に利用者と」、「食事前の活動を促す」、「食事に関する思い出を家族から聞く」などで構成された平均6.6項目の組み合わせ	18	65.4	1.0	38.5
パターン4	「食物の形態を変更」と「静かな環境で」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」と「促さず、見守る」も多く、「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「食事前にトイレへ誘導」、「義歯の調整」、「職員と一緒に」などで構成された平均6.8項目の組み合わせ	16	84.1	6.0	16.0
パターン5	「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」の3項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」、「職員と一緒に」、「食事前にトイレへ誘導」などで構成された平均6.0項目の組み合わせ	9	48.0	10.9	62.4
パターン6	「好きな場所で」、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」の4項目を共通ベースとして、「急かさず、声かけの繰り返し」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の5項目も多い、平均9.3項目の組み合わせ	12	81.1	0.7	18.4
パターン7	「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」、「食物の形態を変更」、「好きな場所で」の4項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」も多く、「職員と一緒に」、「食事前の活動を促す」などで構成された平均7.4項目の組み合わせ	10	81.5	18.4	9.1
パターン8	「食事前にトイレへ誘導」と「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食事の認識を促す」、「好きな場所で」、「職員と一緒に」、「食物の形態を変更」、「食器の大きさを変えた」の5項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」、「義歯の調整」などで構成された平均7.9項目の組み合わせ	8	74.7	12.4	13.1
パターン9	「食事前にトイレへ誘導」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の6項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」、「好みのものにする」、「促さず、見守る」、「テーブルに花を置く」、「食事前の活動を促す」の5項目も多い、平均12.1項目と多い組み合わせ	8	63.5	24.2	37.3
パターン10	「好みのものにする」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「スタッフの通る場所をさける」の4項目も多く、「食事前の活動を促す」、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「仲の良い人と食べる」、「急かさず、声かけの繰り返し」などで構成された平均7.3項目の組み合わせ	9	40.3	44.3	27.9
パターン11	「食事の認識を促す」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「食器の大きさを変えた」と「急かさず、声かけの繰り返し」も多く、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「スタッフの通る場所をさける」などで構成された平均7.6項目の組み合わせ	8	86.1	0.1	26.0
パターン12	「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「職員と一緒に」、「他者と離れて、一人で」、「本人の気持ちの確認、質問」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「好きな場所で」、「食物の形態を変更」、「好みのものにする」の9項目を共通ベースとして、「食事前にトイレへ誘導」、「食事前の活動を促す」など多くを伴った平均18.2項目と最多の組み合わせ	7	85.7	28.6	42.8
パターン13	「静かな環境で」、「促さず、見守る」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の4項目を共通ベースとして、「外食に誘う」、「食事に関する思い出を家族から聞く」、「好きな場所で」、「ペースが一緒に利用者と」の4項目も多い、平均9.9項目の組み合わせ	4	99.7	0.0	0.3

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

(表2-4-4-6) 食事中断の解決方法組み合わせパターンと解決後のパターンの相関
(高齢者パターン1 “自立、中程度重症度” の場合)

(n=87)

解決方法の組み合わせパターン	解決後のパターン		
	パターン1 中断する回数 が減り、 最後まで食 べられるよ うになった	パターン2 好みに合 わせたと きは食べた	パターン3 職員と同じ ペースで食 べられるこ とも増えて きた
パターン1 「促さず、見守る」を主として、「急かさず、声かけの繰り返し」、「好きな場所で」、「家族の名前を出して誘導する」などで構成された平均4.2項目と最少の組み合わせ	0.244 *	-0.219 *	-0.088
パターン2 「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の4項目も多く、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」などで構成された平均5.8項目の組み合わせ	-0.158	0.177	0.017
パターン3 「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」と「促さず、見守る」も多く、「好みのものにする」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースが一緒の利用者と」、「食事前の活動を促す」、「食事に関する思い出を家族から聞く」などで構成された平均6.6項目の組み合わせ	-0.112	0.263 *	-0.147
パターン4 「食物の形態を変更」と「静かな環境で」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」と「促さず、見守る」も多く、「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「食事前にトイレへ誘導」、「義歯の調整」、「職員と一緒に」などで構成された平均6.8項目の組み合わせ	0.207	-0.150	-0.116
パターン5 「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」の3項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」、「職員と一緒に」、「食事前にトイレへ誘導」などで構成された平均6.0項目の組み合わせ	-0.045	0.113	-0.066
パターン6 「好きな場所で」、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」の4項目を共通ベースとして、「急かさず、声かけの繰り返し」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の5項目も多い、平均9.3項目の組み合わせ	0.110	-0.080	-0.061
パターン7 「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」、「食物の形態を変更」、「好きな場所で」の4項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」も多く、「職員と一緒に」、「食事前の活動を促す」などで構成された平均7.4項目の組み合わせ	-0.063	-0.042	0.135
パターン8 「食事前にトイレへ誘導」と「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食事の認識を促す」、「好きな場所で」、「職員と一緒に」、「食物の形態を変更」、「食器の大きさを変えた」の5項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」、「義歯の調整」などで構成された平均7.9項目の組み合わせ	0.162	-0.119	-0.089
パターン9 「食事前にトイレへ誘導」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の6項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」、「好みのものにする」、「促さず、見守る」、「テーブルに花を置く」、「食事前の活動を促す」の5項目も多い、平均12.1項目と多い組み合わせ	0.073	-0.052	-0.041
パターン10 「好みのものにする」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「スタッフの通る場所をさける」の4項目も多く、「食事前の活動を促す」、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「仲の良い人と食べる」、「急かさず、声かけの繰り返し」などで構成された平均7.3項目の組み合わせ	-0.325 **	-0.075	0.537 **
パターン11 「食事の認識を促す」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「食器の大きさを変えた」と「急かさず、声かけの繰り返し」も多く、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「スタッフの通る場所をさける」などで構成された平均7.6項目の組み合わせ	0.010	0.063	-0.086
パターン12 「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「職員と一緒に」、「他者と離れて、一人で」、「本人の気持ちの確認、質問」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「好きな場所で」、「食物の形態を変更」、「好みのものにする」の9項目を共通ベースとして、「食事前にトイレへ誘導」、「食事前の活動を促す」など多くを伴った平均18.2項目と最多の組み合わせ	-0.174	0.066	0.167
パターン13 「静かな環境で」、「促さず、見守る」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の4項目を共通ベースとして、「外食に誘う」、「食事に関する思い出を家族から聞く」、「好きな場所で」、「ペースが一緒の利用者と」の4項目も多い、平均9.9項目の組み合わせ	0.071	-0.051	-0.039

(注) 潜在クラス帰属確率による相関係数
高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)
(帰属確率による高齢者パターン1の事例数に近似するもやや異なる)

(有意水準) 1%水準 **
5%水準 *

(表2-4-4-7) 食事中断の解決方法組み合わせパターンと解決後の各状況との関連
(高齢者パターン1“自立、中程度重症度”の場合)

解決方法パターン		有効回答事例数	【比率】(横100)		
			解決後の状況		
			中断する回数が減り、最後まで食べられるようになった	職員と同じペースで食べられることも増えてきた	好みに合わせたときは食べた
全体		87	80.5	11.5	18.4
パターン1	「促さず、見守る」を主として、「急かさず、声かけの繰り返し」、「好きな場所で」、「家族の名前を出して誘導する」などで構成された平均4.2項目と最少の組み合わせ	17	92.1	6.0	1.9
パターン2	「ベースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の4項目も多く、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」などで構成された平均5.8項目の組み合わせ	16	72.8	12.2	33.7
パターン3	「ベースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」と「促さず、見守る」も多く、「好みのものにする」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食事を一端止め、待つ」、「ベースが一緒の利用者」と、「食事前の活動を促す」、「食事に関する思い出を家族から聞く」などで構成された平均6.6項目の組み合わせ	13	66.9	1.2	38.9
パターン4	「食物の形態を変更」と「静かな環境で」を共通ベースとして、「ベースを尊重し、食事の促し」と「促さず、見守る」も多く、「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「食事前にトイレへ誘導」、「義歯の調整」、「職員と一緒に」などで構成された平均6.8項目の組み合わせ	8	100.0	0.0	0.2
パターン5	「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食物の形態を変更」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」の3項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」、「職員と一緒に」、「食事前にトイレへ誘導」などで構成された平均6.0項目の組み合わせ	3	62.3	0.8	37.0
パターン6	「好きな場所で」、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」の4項目を共通ベースとして、「急かさず、声かけの繰り返し」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の5項目も多い、平均9.3項目の組み合わせ	2	99.1	0.6	0.8
パターン7	「ベースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」、「食物の形態を変更」、「好きな場所で」の4項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」も多く、「職員と一緒に」、「食事前の活動を促す」などで構成された平均7.4項目の組み合わせ	8	75.0	25.3	12.1
パターン8	「食事前にトイレへ誘導」と「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食事の認識を促す」、「好きな場所で」、「職員と一緒に」、「食物の形態を変更」、「食器の大きさを変えた」の5項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」、「義歯の調整」などで構成された平均7.9項目の組み合わせ	5	99.7	0.2	0.1
パターン9	「食事前にトイレへ誘導」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の6項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」、「好みのものにする」、「促さず、見守る」、「テーブルに花を置く」、「食事前の活動を促す」の5項目も多い、平均12.1項目と多い組み合わせ	1	99.9	0.8	2.2
パターン10	「好みのものにする」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「ベースを尊重し、食事の促し」、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「スタッフの通る場所をさける」の4項目も多く、「食事前の活動を促す」、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「仲の良い人と食べる」、「急かさず、声かけの繰り返し」などで構成された平均7.3項目の組み合わせ	3	4.5	95.0	4.1
パターン11	「食事の認識を促す」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「食器の大きさを変えた」と「急かさず、声かけの繰り返し」も多く、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「スタッフの通る場所をさける」などで構成された平均7.6項目の組み合わせ	4	73.9	0.0	26.1
パターン12	「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「職員と一緒に」、「他者と離れて、一人で」、「本人の気持ちの確認、質問」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「好きな場所で」、「食物の形態を変更」、「好みのものにする」の9項目を共通ベースとして、「食事前にトイレへ誘導」、「食事前の活動を促す」など多くを伴った平均18.2項目と最多の組み合わせ	6	100.0	33.3	33.3
パターン13	「静かな環境で」、「促さず、見守る」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の4項目を共通ベースとして、「外食に誘う」、「食事に関する思い出を家族から聞く」、「好きな場所で」、「ベースが一緒の利用者」の4項目も多い、平均9.9項目の組み合わせ	1	99.9	0.0	0.1

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)

(帰属確率による高齢者パターン1の事例数に近似するもやや異なる)

(表 2-4-4-8) 食事中断の解決方法組み合わせパターンと解決後のパターンの相関
(高齢者パターン2 “一部介助、中高程度重症度” の場合)

解決方法パターン		有効回答事例数	【比率】(横100)		
			中絶する回数 が減り、最後 まで食べらる ようになった	職員と同じ ペースで食べ られることも増 えてきた	好みに合わせ たときは食べ た
全体		67	67.2	10.4	34.3
パターン1	「促さず、見守る」を主として、「急かさず、声かけの繰り返し」、「好きな場所で」、「家族の名前を出して誘導する」などで構成された平均4.2項目と最少の組み合わせ	3	53.0	0.1	46.9
パターン2	「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の4項目も多く、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」などで構成された平均5.8項目の組み合わせ	8	76.9	11.7	23.8
パターン3	「ペースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」と「促さず、見守る」も多く、「好みのものにする」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースが一緒の利用者」と、「食事前の活動を促す」、「食事に関する思い出を家族から聞く」などで構成された平均6.6項目の組み合わせ	5	61.7	0.6	37.7
パターン4	「食物の形態を変更」と「静かな環境で」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」と「促さず、見守る」も多く、「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「食事前にトイレへ誘導」、「義歯の調整」、「職員と一緒に」などで構成された平均6.8項目の組み合わせ	9	69.9	11.3	30.1
パターン5	「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」の3項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」、「職員と一緒に」、「食事前にトイレへ誘導」などで構成された平均6.0項目の組み合わせ	6	42.0	15.2	73.1
パターン6	「好きな場所で」、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」の4項目を共通ベースとして、「急かさず、声かけの繰り返し」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の5項目も多い、平均9.3項目の組み合わせ	9	76.7	0.7	22.8
パターン7	「ペースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」、「食物の形態を変更」、「好きな場所で」の4項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」も多く、「職員と一緒に」、「食事前の活動を促す」などで構成された平均7.4項目の組み合わせ	3	98.2	0.5	1.3
パターン8	「食事前にトイレへ誘導」と「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食事の認識を促す」、「好きな場所で」、「職員と一緒に」、「食物の形態を変更」、「食器の大きさを変えた」の5項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」、「義歯の調整」などで構成された平均7.9項目の組み合わせ	3	33.0	32.6	34.8
パターン9	「食事前にトイレへ誘導」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の6項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」、「好みのものにする」、「促さず、見守る」、「テーブルに花を置く」、「食事前の活動を促す」の5項目も多い、平均12.1項目と多い組み合わせ	7	57.6	28.1	43.0
パターン10	「好みのものにする」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「ペースを尊重し、食事の促し」、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「スタッフの通る場所をさける」の4項目も多く、「食事前の活動を促す」、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「仲の良い人と食べる」、「急かさず、声かけの繰り返し」などで構成された平均7.3項目の組み合わせ	6	59.4	17.4	40.6
パターン11	「食事の認識を促す」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「食器の大きさを変えた」と「急かさず、声かけの繰り返し」も多く、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「スタッフの通る場所をさける」などで構成された平均7.6項目の組み合わせ	4	99.2	0.3	25.8
パターン12	「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「職員と一緒に」、「他者と離れて、一人で」、「本人の気持ちの確認、質問」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「好きな場所で」、「食物の形態を変更」、「好みのものにする」の9項目を共通ベースとして、「食事前にトイレへ誘導」、「食事前の活動を促す」など多くを伴った平均18.2項目と最多の組み合わせ	1	0.0	0.0	100.0
パターン13	「静かな環境で」、「促さず、見守る」、「ペースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の4項目を共通ベースとして、「外食に誘う」、「食事に関する思い出を家族から聞く」、「好きな場所で」、「ペースが一緒の利用者」との4項目も多い、平均9.9項目の組み合わせ	3	99.6	0.0	0.4

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)

(帰属確率による高齢者パターン2の事例数に近似するもやや異なる)

(表 2-4-4-9) 食事中断の解決方法組み合わせパターンと解決後の各状況との関連
(高齢者パターン2 “一部介助、中高程度重症度” の場合)

解決方法パターン		有効回答事例数	【比率】(機100)		
			解決後の状況		
			中断する回数が減り、最後まで食べられるようになった	職員と同じペースで食べられることも増えてきた	好みに合わせたときは食べた
全体		67	67.2	10.4	34.3
パターン1	「促さず、見守る」を主として、「急かさず、声かけの繰り返し」、「好きな場所で」、「家族の名前を出して誘導する」などで構成された平均4.2項目と最少の組み合わせ	3	53.0	0.1	46.9
パターン2	「ベースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「食物の形態を変更」、「職員と一緒に」の4項目も多く、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」などで構成された平均5.8項目の組み合わせ	8	76.9	11.7	23.8
パターン3	「ベースを尊重し、食事の促し」を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」と「促さず、見守る」も多く、「好みのものにする」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食事を一端止め、待つ」、「ベースが一緒の利用者と」、「食事前の活動を促す」、「食事に関する思い出を家族から聞く」などで構成された平均6.6項目の組み合わせ	5	61.7	0.6	37.7
パターン4	「食物の形態を変更」と「静かな環境で」を共通ベースとして、「ベースを尊重し、食事の促し」と「促さず、見守る」も多く、「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「食事前にトイレへ誘導」、「義歯の調整」、「職員と一緒に」などで構成された平均6.8項目の組み合わせ	9	69.9	11.3	30.1
パターン5	「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食物の形態を変更」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」の3項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」、「職員と一緒に」、「食事前にトイレへ誘導」などで構成された平均6.0項目の組み合わせ	6	42.0	15.2	73.1
パターン6	「好きな場所で」、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「食事の認識を促す」の4項目を共通ベースとして、「急かさず、声かけの繰り返し」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「食物の形態を変更」、「一端、休憩」、「職員と一緒に」の5項目も多い、平均9.3項目の組み合わせ	9	76.7	0.7	22.8
パターン7	「ベースを尊重し、食事の促し」、「促さず、見守る」、「食物の形態を変更」、「好きな場所で」の4項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」も多く、「職員と一緒に」、「食事前の活動を促す」などで構成された平均7.4項目の組み合わせ	3	98.2	0.5	1.3
パターン8	「食事前にトイレへ誘導」と「急かさず、声かけの繰り返し」を共通ベースとして、「食事の認識を促す」、「好きな場所で」、「職員と一緒に」、「食物の形態を変更」、「食器の大きさを変えた」の5項目も多く、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「仲の良い人と食べる」、「義歯の調整」などで構成された平均7.9項目の組み合わせ	3	33.0	32.6	34.8
パターン9	「食事前にトイレへ誘導」、「好きな場所で」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の6項目を共通ベースとして、「仲の良い人と食べる」、「好みのものにする」、「促さず、見守る」、「テーブルに花を置く」、「食事前の活動を促す」の5項目も多い、平均12.1項目と多い組み合わせ	7	57.6	28.1	43.0
パターン10	「好みのものにする」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「ベースを尊重し、食事の促し」、「食事を一端止め、待つ」、「促さず、見守る」、「スタッフの通る場所をさける」の4項目も多く、「食事前の活動を促す」、「好きな場所で」、「食事の認識を促す」、「仲の良い人と食べる」、「急かさず、声かけの繰り返し」などで構成された平均7.3項目の組み合わせ	6	59.4	17.4	40.6
パターン11	「食事の認識を促す」と「職員と一緒に」を共通ベースとして、「食器の大きさを変えた」と「急かさず、声かけの繰り返し」も多く、「促さず、見守る」、「食事を一端止め、待つ」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「静かな環境で」、「食物の形態を変更」、「スタッフの通る場所をさける」などで構成された平均7.6項目の組み合わせ	4	99.2	0.3	25.8
パターン12	「食事の認識を促す」、「食事を一端止め、待つ」、「職員と一緒に」、「他者と離れて、一人で」、「本人の気持ちの確認、質問」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「好きな場所で」、「食物の形態を変更」、「好みのものにする」の9項目を共通ベースとして、「食事前にトイレへ誘導」、「食事前の活動を促す」など多くを伴った平均18.2項目と最多の組み合わせ	1	0.0	0.0	100.0
パターン13	「静かな環境で」、「促さず、見守る」、「ベースを尊重し、食事の促し」、「職員と一緒に」の4項目を共通ベースとして、「外食に誘う」、「食事に関する思い出を家族から聞く」、「好きな場所で」、「ベースが一緒の利用者と」の4項目も多い、平均9.9項目の組み合わせ	3	99.6	0.0	0.4

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)

(帰属確率による高齢者パターン2の事例数に近似するもやや異なる)

(表 2-4-5-1) 食事中断の解決に役立った情報

区分	code	解決に役立った情報	実数	%
計 (延解決方法件数)			1,571	100.0
認知能力	1	認知機能	109	6.9
	2	認知症の種類	20	1.3
	3	認知症の症状	113	7.2
	4	認知症罹患期間	-	-
健康面	5	体調	116	7.4
	6	現病・既往歴	21	1.3
	7	排泄状況	78	5.0
	8	水分状態	30	1.9
	9	視力・視覚機能	35	2.2
	10	体重・BMI	7	0.4
	11	運動量	31	2.0
	12	睡眠時間・状況	44	2.8
	13	手指腕の機能	30	1.9
口腔機能	14	口腔状況	75	4.8
	15	咀嚼力	95	6.0
	16	嚥下状態・誤嚥	88	5.6
心理面	17	気分	428	27.2
	18	心配ごと・不満状況	112	7.1
	19	本人の気持ち・意志	388	24.7
食事関係	20	食の嗜好・興味・意欲	241	15.3
	21	最近の食事量	69	4.4
	22	当日の食事量・おやつ量	53	3.4
	23	満腹感、空腹感	58	3.7
	24	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)	136	8.7
	25	盛付	71	4.5
	26	食器の配置	59	3.8
食事中の状態	27	食中の様子	205	13.0
	28	姿勢	34	2.2
	29	視線	89	5.7
	30	食事中の会話	158	10.1
	31	表情	202	12.9
習慣	32	最近の食習慣	96	6.1
	33	生活習慣(ここ数年)	106	6.7
	34	生活歴(幼少期から)	71	4.5
環境	35	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)	206	13.1
	36	席の位置	157	10.0
	37	椅子・机の形	2	0.1
	38	椅子・机の高さ	17	1.1
	39	椅子・机の色	1	0.1
人間関係	40	他の入居者との関係	218	13.9
	41	スタッフとの関係	203	12.9
	42	家族関係	75	4.8
介護者の対応	43	スタッフの声かけ内容・見守り方	473	30.1
その他	44	その他	3	0.2

(参考) 平均記入項目数 →

3.1

(表2-4-5-2) 食事中断の解決に役立った情報の組み合わせパターン
(潜在クラス20クラスモデルのプロフィール)

Table with 44 columns (変分, code, 変数に設けられた情報, サイズ, and 20 potential classes) and 44 rows of variables like 認知能力, 睡眠量, 食事量, etc. Each cell contains a numerical coefficient for a specific potential class.

(注) 該変数判数は、各パターンのサイズ(確率)から算出して算出したものであり、確率が僅差の場合、幸勿論の同値ともなっております。

(表 2-4-5-3) 潜在クラスモデル評価(食事中断の解決に役立った情報の組み合わせパターン)
(情報量規準など)

モデル(クラス数)	情報量規準		Classification Statistics			
	BIC	AIC	Class.Err.	Reduction errors	Entropy R-squared	Standard R-squared
モデル1(クラス数1)	30799.3	30574.3	0.000	1.000	1.000	1.000
モデル2(クラス数2)	30268.2	29812.8	0.111	0.761	0.632	0.681
モデル3(クラス数3)	30204.8	29519.0	0.159	0.702	0.636	0.653
モデル4(クラス数4)	30247.9	29331.8	0.152	0.709	0.670	0.665
モデル5(クラス数5)	30334.8	29188.2	0.186	0.683	0.661	0.645
モデル6(クラス数6)	30445.4	29068.5	0.212	0.692	0.665	0.626
モデル7(クラス数7)	30627.3	29020.1	0.218	0.709	0.677	0.633
モデル8(クラス数8)	30804.8	28967.2	0.222	0.698	0.686	0.635
モデル9(クラス数9)	31015.7	28947.7	0.243	0.707	0.685	0.619
モデル10(クラス数10)	31228.5	28930.1	0.245	0.715	0.691	0.618
モデル11(クラス数11)	31425.8	28897.1	0.229	0.731	0.717	0.643
モデル12(クラス数12)	31670.1	28911.0	0.241	0.704	0.713	0.630
モデル13(クラス数13)	31910.7	28921.1	0.233	0.720	0.727	0.643
モデル14(クラス数14)	32126.6	28906.7	0.232	0.730	0.735	0.647
モデル15(クラス数15)	32392.6	28942.4	0.239	0.723	0.730	0.638
モデル16(クラス数16)	32691.7	29011.1	0.255	0.714	0.727	0.620
モデル17(クラス数17)	32895.0	28984.0	0.237	0.717	0.746	0.645
モデル18(クラス数18)	33146.4	29005.0	0.233	0.736	0.752	0.649
モデル19(クラス数19)	33441.8	29070.0	0.239	0.727	0.757	0.649
モデル20(クラス数20)	33682.8	29080.6	0.217	0.744	0.770	0.668
モデル21(クラス数21)	33966.8	29134.3	0.254	0.722	0.753	0.633
モデル22(クラス数22)	34220.4	29157.5	0.225	0.741	0.786	0.670
モデル23(クラス数23)	34455.8	29162.5	0.236	0.739	0.772	0.654

(表2-4-5-4) 食事中断の解決に役立つ情報の組み合わせパターンと解決方法の関連

区分	解決方法	情報の組み合わせパターン																					
		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8	パターン9	パターン10	パターン11	パターン12	パターン13	パターン14	パターン15	パターン16	パターン17	パターン18	パターン19	パターン20		
食事中断	声かけの工夫	191	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	
食事中断	調理の工夫	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242
食事中断	アンパル調製	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264
食事中断	食事の工夫	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286
食事中断	食事提供調整	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308
その他	その他	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330
合計		1,508	238	176	132	114	104	79	77	75	71	70	65	50	50	47	42	40	37	37	28	28	26

(注) 青字がパターン重複による重複数

(表 2-4-6-1) 絶対にやってはいけない対応

	有効回答数	本人任せで 放っておく	強制的な声 かけ	しかったり、 怒り口調で 声かけ	会話の内容 を否定する	強引に口に 入れる	その他
実数	235	163	207	217	207	210	22
パーセント	100.0	69.4	88.1	92.3	88.1	89.4	9.4

4. 清拭拒否への成功件調査

1) 回答者属性

本調査の回答 260 件における回答者の年齢、性別、職名、役職、資格、所属事業種、勤続年数、総介護経験年数について割合を算出した。

(1) 年齢

有効回答 251 件における回答者の平均年齢は、44.2 歳 (SD12.3 歳) で最少年齢が 21 歳、最高年齢が 76 歳であった。その分布をみると、50 歳から 59 歳のウェイトがやや高い。(表 2-5-1-1 参照)

(2) 性別割合

有効回答 258 件中、回答者の性別割合は男性が 43 件 (16.7%)、女性が 215 件 (83.3%) と女性の割合が多かった。(表 2-5-1-2 参照)

(3) 職名の割合

有効回答 245 件中、回答者の職名の割合はケアワーカーが 97 件 (39.6%)、ケアマネージャーが 76 件 (31.0%)、看護師が 22 件 (9.0%)、相談員が 7 件 (2.9%) となっている。(表 2-5-1-3 参照)

(4) 役職の割合

有効回答 248 件中、回答者の役職の割合は管理者が 82 件 (33.1%)、主任・リーダーが 68 件 (27.4%)、施設長が 21 件 (8.5%)、理事長が 1 件 (0.4%) で、76 件 (30.6%) が役職なしであった。(表 2-5-1-4 参照)

(5) 資格の所有割合

有効回答 253 件中、回答者の資格の所有割合は介護福祉士が 162 件 (64.0%)、ヘルパーが 102 件 (40.3%)、ケアマネージャーが 96 件 (37.9%)、看護師 (准看護師) が 30 件 (11.9%)、社会福祉士が 8 件 (3.2%) であった。(表 2-5-1-5 参照)

(6) 所属事業種の割合

有効回答 256 件中、回答者の所属事業種は認知症対応型共同生活介護事業が 244 件 (95.3%)、介護老人福祉施設 (ユニット型) と小規模多機能型通所介護事業が各 4 件 (1.6%)、介護老人福祉施設が 2 件 (0.8%)、であった。(表 2-5-1-6 参照)

(7) 所属事業所での勤続年数

有効回答 258 件中、回答者の所属事業所での平均勤続年数は、4.5 年 (SD3.3 年) で最少が 0.1 年、最高が 24.3 年であった。(表 2-5-1-7 参照)

(8) 総介護経験年数

有効回答 246 件中、回答者の総介護経験の平均年数は、9.2 年 (SD6.0 年) で最少が 0.0 年、最高が 40.1 年であった。(表 2-5-1-8 参照)

2) 清拭拒否の解決経験

本調査に回答を得た 260 件における清拭拒否の解決経験、解決した高齢者に関する年齢、性別、認知症の原因疾患、身体機能の障害とADL、認知症の重症度、身体障害の重症度について割合を算出するとともに、介助や重症度などによるパターン化を行った。

(1) 解決経験の有無

有効回答 250 件中、清拭拒否で解決経験があるのは 217 件 (86.8%) であった。
(表 2-5-2-1 参照)

(2) 高齢者の状態

① 年齢

解決経験がある 217 件のうち有効回答 203 件における高齢者の平均年齢は、84.8 歳 (SD6.0 歳) で最少年齢が 62 歳、最高年齢が 105 歳であった。その分布をみると、85 歳~89 歳が 75 件 (36.9%) で最も多い。(表 2-5-2-2 参照)

② 性別

性別割合は、有効回答 214 件中、男性が 36 件 (16.8%)、女性が 178 件 (83.2%) と女性が多い。(表 2-5-2-3 参照)

③ 認知症の原因疾患

認知症の原因疾患は、有効回答 203 件中、アルツハイマー型が 111 件 (54.7%)、脳血管疾患型が 55 件 (27.1%)、前頭側頭型が 1 件 (0.5%)、混合が 17 件 (8.4%) であった。(表 2-5-2-4 参照)

④ 身体機能の障害とADL

【機能障害部位】

機能障害部位は、有効回答 217 件中、下肢が 51 件 (23.5%)、体幹が 9 件 (4.1%)、首と上肢が各 2 件 (0.9%) であり、残りの 153 件 (70.5%) が機能障害なし (= 無回答) であった。(表 2-5-2-5 参照)

【食事介助】

食事介助は、有効回答 203 件中、自立が 156 件 (76.8%)、一部介助が 41 件 (20.2%)、全介助が 6 件 (3.0%) であった。(表 2-5-2-6 参照)

【移動】

移動は、有効回答 176 件中、短距離歩行自立が 103 件 (58.5%)、長距離歩行自立が 43 件 (24.4%)、杖自立が 25 件 (14.2%) であった。(表 2-5-2-7 参照)

【排泄】

排泄は、有効回答 192 件中、身体介助必要が 96 件 (50.0%)、身体介助必要なしが 96 件 (50.0%) と半々であった。(表 2-5-2-8 参照)

【入浴】

入浴は、有効回答 206 件中、全介助が 39 件 (18.9%)、洗身洗髪介助が 80 件 (38.8%)、移動介助が 17 件 (8.3%)、その他一部介助が 59 件 (28.6%) で、

自立が 11 件 (5.3%) であった。(表 2-5-2-9 参照)

⑤ 認知症の重症度

認知症の重症度は、有効回答 214 件中、ランク I が 11 件 (5.1%)、ランク II が 67 件 (31.3%)、ランク III が 74 件 (34.6%)、ランク IV が 49 件 (22.9%)、ランク V が 13 件 (6.1%) であった。(表 2-5-2-10 参照)

⑥ 身体障害の重症度

身体障害の重症度は、有効回答 206 件中、J ランクが 26 件 (12.6%)、A ランクが 145 件 (70.4%)、B ランクが 32 件 (15.5%)、C ランクが 3 件 (1.5%) であった。(表 2-5-2-11 参照)

⑦ 高齢者パターン

高齢者の状態を総合的にみてパターン化するために、性別、入浴介助、認知症の重症度、身体障害の重症度の 4 項目を対象にして潜在クラス分析(注 1)を行った結果 2 パターンが可能となった。

第 1 パターンは、入浴介助で洗身洗髪介助(42.3%)とその他一部介助(38.2%)が多く、身体障害の重症度で A ランク (84.0%) が多く、認知症の重症度でランク II (44.3%) とランク III (38.2%) の中程度が多いことから、これを「一部介助、中程度重症度」と解釈した。このパターンには、有効回答 195 件のうち 127 件 (71.8%) が該当する。

第 2 パターンは、入浴介助で全介助 (61.0%) が多く、身体障害の重症度で B ランク (49.9%) と A ランク (36.3%) が多く、認知症の重症度でランク IV (54.5%) とランク III (36.9%) が多くことから、これを「全介助、中高程度重症度」と解釈した。このパターンには 50 件 (28.2%) が該当する。(表 2-5-2-12 参照) (潜在クラスモデルの評価経緯は表 2-5-2-13 参照)

(注 1) 潜在クラス分析について

潜在クラス分析は、全体集団から異質な部分集団の混在を識別する分析モデルである。

高齢者全体集団でみたとき、性別、入浴介助、認知症の重症度、身体障害の重症度の 4 項目間に関連があれば異質な部分集団が混在していると考えて、項目間の関連がない部分集団(これをクラスと呼ぶ)を識別する。具体的には、同一クラス内では対象 4 項目間の関連がなくなるように識別し、項目間の関連がなくなることを局所独立と呼ぶ。

クラス数は任意であるが、多くすれば局所独立が高まる反面モデルとしての適切さが損なわれる。適切なモデル(クラス数)を評価する指標として AIC や BIC などの情報量規準が用いられ、その数値が低い方が良いとされている。なおここで示すクラス毎の事案件数は確率的に求めた件数である(注 2 参照)。分析ソフトは“LatentGOLD”を用いた。

3) 解決前と解決後の変化

清拭拒否で解決経験がある 239 件における、解決前の状況と解決後の状況について割合を算出するとともに、解決前後の関連を分析し、高齢者パターンによる差異も確認した。

(1) 解決前の状況

清拭拒否が解決される前の状況としては、有効回答 216 件中、「色々な理由をつけて拒否していた」が 108 件 (50.0%) と際立って多く、「頑固に拒否していた」が 62 件 (28.7%)、「入浴・清拭という言葉聞くだけで拒否していた」が 52 件 (24.1%)、「暴言、暴力を伴いながら拒否していた」が 51 件 (23.6%)、「入浴も清拭も拒否して寝てばかりいた」が 15 件 (6.9%) であった。(表 2-5-3-1 参照)

(2) 解決後の状況

清拭拒否が解決された後の状況としては、有効回答 217 件中、「拒否の回数が減り、応じる回数が増えた」が 124 件 (57.1%) と際立って多く、「徐々に清拭の声かけを受入れるようになった」が 48 件 (22.1%)、「入浴・清拭という言葉聞いても嫌がることは減った」が 36 件 (16.6%)、「清拭を始めると「気持ちがいい、こっちも拭いて」と手や足を出すようになった」が 21 件 (9.7%)、「拒否することが全くなくなった」が 8 件 (3.7%) であった。(表 2-5-3-2 参照)

(3) 解決前後の関連

解決前後それぞれの項目重複による影響排除のために、パターン化を経て分析することにした。

① 解決前のパターン

パターン化に用いた方法は潜在クラス分析である。

解決前は 6 パターンであり、第 1 は、「色々な理由をつけて拒否していた」(99.9%) だけにほぼ集中している。これに該当する事例が 65 件 (39.9%) であり、「色々な理由をつけて拒否していた」パターンと表示する。

第 2 は、「頑固に拒否していた」(99.4%) に加えて、「色々な理由をつけて拒否していた」(10.5%) や「暴言、暴力を伴いながら拒否していた」(10.2%) を若干伴っている。これに該当する事例が 26 件 (16.0%) であり、「頑固に拒否していた」パターンと表示する。

第 3 は、「暴言、暴力を伴いながら拒否していた」(99.4%) に加えて、「色々な理由をつけて拒否していた」(7.0%) や「頑固に拒否していた」(6.8%) を若干伴っている。これに該当する事例が 25 件 (15.3%) であり、「暴言、暴力を伴いながら拒否していた」パターンと表示する。

第 4 は、「入浴・清拭という言葉聞くだけで拒否していた」(99.4%) に加えて、「頑固に拒否していた」(5.6%) や「色々な理由をつけて拒否していた」(5.1%) を若干伴っている。これに該当する事例が 24 件 (14.7%) であり、「入

浴・清拭という言葉^を聞くだけで拒否していた”パターンと表示する。

第5は、「頑固に拒否していた」(98.4%)に加えて、「入浴・清拭という言葉^を聞くだけで拒否していた」(74.0%)、「色々な理由をつけて拒否していた」(72.0%)、「暴言、暴力を伴いながら拒否していた」(50.8%)、「入浴も清拭も拒否して寝てばかりいた」(27.8%)など多くの状況を伴っている。これに該当する事例が17件(10.4%)であり、“複合的清拭拒否”パターンと表示する。

第6は、「入浴も清拭も拒否して寝てばかりいた」(96.1%)に加えて、「色々な理由をつけて拒否していた」(33.5%)を伴っている。これに該当する事例が6件(3.7%)であり、“入浴も清拭も拒否して寝てばかりいた”パターンと表示する。(表2-5-3-3参照)(潜在クラスモデルの評価経緯は表2-5-3-4参照)

② 解決後のパターン

解決後は5パターンであり、第1は、「拒否の回数が減り、応じる回数が増えた」(99.9%)だけにほぼ集中している。これに該当する事例が87件(53.4%)であり、“拒否の回数が減り、応じる回数が増えた”パターンと表示する。

第2は、「徐々に清拭の声かけを受入れるようになった」(99.4%)にほぼ集中している。これに該当する事例が31件(19.0%)であり、“徐々に清拭の声かけを受入れるようになった”パターンと表示する。

第3は、「入浴・清拭という言葉^を聞いても嫌がることは減った」(99.1%)に加えて、「拒否の回数が減り、応じる回数が増えた」(12.7%)や「徐々に清拭の声かけを受入れるようになった」(8.1%)を若干伴っている。これに該当する事例が23件(14.1%)であり、“入浴・清拭という言葉^を聞いても嫌がることは減った”パターンと表示する。

第4は、「清拭を始めると「気持ちがいい、こっちも拭いて」と手や足を出すようになった」(94.3%)に加えて、「拒否の回数が減り、応じる回数が増えた」(56.7%)、「入浴・清拭という言葉^を聞いても嫌がることは減った」(22.6%)、「徐々に清拭の声かけを受入れるようになった」(22.4%)など比較的多様な状況を伴っている。これに該当する事例が14件(8.6%)であり、“清拭を始めると「気持ちがいい、こっちも拭いて」と手や足を出すようになった”パターンと表示する。

第5は、「拒否することが全くなくなった」(96.9%)に加えて、「拒否の回数が減り、応じる回数が増えた」(14.0%)や「徐々に清拭の声かけを受入れるようになった」(13.0%)を若干伴っている。これに該当する事例が8件(4.9%)であり、“拒否することが全くなくなった”パターンと表示する。(表2-5-3-5参照)(潜在クラスモデルの評価経緯は表2-5-3-6参照)

③ 解決前後のパターンの関連

各パターンへの帰属確率の相関によって解決前後の関連分析をした。